



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本電子株式会社

コード番号 6951 URL <http://www.jeol.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 栗原 権右衛門

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略室長

(氏名) 大井 泉

TEL 042(543)1111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	59,426	△0.4	△1,500	—	△512	—	△1,675	—
26年3月期第3四半期	59,646	14.0	△572	—	△2,756	—	△1,642	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 131百万円 (△86.1%) 26年3月期第3四半期 942百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△19.37	—
26年3月期第3四半期	△22.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	112,843	—	26,167	—	23.2	—	270.79	
26年3月期	111,452	—	28,791	—	25.8	—	276.72	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 26,167百万円 26年3月期 28,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	0.7	4,000	△33.6	3,500	4.8	2,600	△34.7	26.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	97,715,600 株	26年3月期	97,715,600 株
27年3月期3Q	1,080,414 株	26年3月期	1,078,538 株
27年3月期3Q	96,635,848 株	26年3月期3Q	78,288,234 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済状況は、地政学的リスクの影響、新興国経済の減速等の不安要素はあるものの米国景気の回復や、国内における金融緩和政策等による円高の是正や株価の上昇等により、概ね景気は緩やかに回復しつつあります。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Dynamic Vision」（平成25年度～平成27年度）に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は59,426百万円（前年同期比0.4%減）となりました。損益面においては、営業損失は1,500百万円（前年同期は営業損失572百万円）、経常損失は512百万円（前年同期は経常損失2,756百万円）、四半期純損失は1,675百万円（前年同期は四半期純損失1,642百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡への引合いは引き続き好調であり、材料・医学・生物分野における開発研究から品質管理等の幅広い分野からの要求に応えました。特に透過電子顕微鏡の需要は旺盛で市場での高い評価が受注に寄与しました。

この結果、当事業の売上高は41,474百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

② 産業機器事業

電子ビーム描画装置および電子ビーム蒸着用電子銃・電源の売上は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高5,342百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

③ 医用機器事業

国内および海外（主にOEM供給先であるシーメンス向け）の売上は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は12,609百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から1,391百万円増加し112,843百万円となりました。主なものとしては、現金及び預金が4,991百万円増加し、受取手形及び売掛金が13,925百万円減少し、たな卸資産が8,799百万円増加および投資有価証券が2,171百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から4,015百万円増加し86,676百万円となりました。これは主に、前受金等のその他流動負債の増加2,688百万円および長期借入金の増加1,579百万円によるものであります。

一方、当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、資本剰余金および利益剰余金の減少に伴い26,167百万円となりました。以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から2.6%減少し23.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の給付見込期間および給付見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債および利益剰余金に与える影響は、軽微であります。また、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,027	13,019
受取手形及び売掛金	34,222	20,297
商品及び製品	11,830	14,735
仕掛品	21,264	27,312
原材料及び貯蔵品	2,003	1,849
その他	4,517	5,289
貸倒引当金	△183	△175
流動資産合計	81,682	82,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,593	5,528
機械装置及び運搬具(純額)	619	733
工具、器具及び備品(純額)	2,643	2,299
土地	1,846	1,926
リース資産(純額)	1,475	1,130
建設仮勘定	789	1,083
有形固定資産合計	12,968	12,702
無形固定資産		
のれん	3,606	3,329
その他	1,210	985
無形固定資産合計	4,817	4,314
投資その他の資産		
投資有価証券	7,899	10,071
その他	4,052	3,411
貸倒引当金	△42	△44
投資その他の資産合計	11,909	13,438
固定資産合計	29,694	30,455
繰延資産	74	59
資産合計	111,452	112,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,578	18,295
短期借入金	19,998	20,034
1年内償還予定の社債	760	585
未払法人税等	782	340
賞与引当金	1,005	559
その他	15,893	18,581
流動負債合計	56,018	58,395
固定負債		
社債	960	1,105
長期借入金	12,748	14,327
役員退職慰労引当金	196	192
退職給付に係る負債	10,554	10,821
資産除去債務	149	192
その他	2,033	1,640
固定負債合計	26,642	28,280
負債合計	82,660	86,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	11,582	9,386
利益剰余金	9,017	6,784
自己株式	△533	△534
株主資本合計	30,103	25,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,021	2,898
為替換算調整勘定	△832	△88
退職給付に係る調整累計額	△2,500	△2,315
その他の包括利益累計額合計	△1,312	494
純資産合計	28,791	26,167
負債純資産合計	111,452	112,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	59,646	59,426
売上原価	40,183	37,658
売上総利益	19,462	21,768
販売費及び一般管理費		
研究開発費	3,363	4,187
その他	16,671	19,081
販売費及び一般管理費合計	20,034	23,268
営業損失(△)	△572	△1,500
営業外収益		
受取利息	32	37
受取配当金	66	81
受取保険金	80	48
受託研究収入	8	141
持分法による投資利益	—	124
貸倒引当金戻入額	12	17
為替差益	—	976
その他	151	159
営業外収益合計	352	1,587
営業外費用		
支払利息	420	359
売上債権売却損	146	116
持分法による投資損失	20	—
為替差損	1,755	—
その他	192	123
営業外費用合計	2,536	599
経常損失(△)	△2,756	△512
特別利益		
固定資産売却益	5	5
段階取得に係る差益	1,863	—
その他	2	1
特別利益合計	1,871	6
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	16	55
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	30	55
税金等調整前四半期純損失(△)	△915	△561
法人税、住民税及び事業税	654	649
法人税等調整額	72	465
法人税等合計	727	1,114
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,642	△1,675
四半期純損失(△)	△1,642	△1,675

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,642	△1,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,039	876
繰延ヘッジ損益	472	—
為替換算調整勘定	812	596
退職給付に係る調整額	—	185
持分法適用会社に対する持分相当額	260	148
その他の包括利益合計	2,585	1,806
四半期包括利益	942	131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	942	131
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年5月13日開催の取締役会において、第1種優先株式の全部を取得すること、および取得した第1種優先株式の全部につき消却を行うことを決議いたしました。

上記決議に基づき、当社は平成26年5月30日付で第1種優先株式の全部を取得し、これを全部消却しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2,196百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が9,386百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,814	5,407	12,424	59,646	—	59,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	41,814	5,407	12,424	59,646	—	59,646
セグメント利益又は損失 (△)	1,037	27	877	1,942	△2,514	△572

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,514百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,514百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「理科学・計測機器事業」セグメントにおいて、当社の持分法適用関連会社である株式会社 JEOL RESONANCEの株式を追加取得した際、のれんを計上しております。なお、当該のれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間内において3,698百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,474	5,342	12,609	59,426	—	59,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	41,474	5,342	12,609	59,426	—	59,426
セグメント利益又は損失 (△)	△648	269	1,669	1,289	△2,790	△1,500

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,790百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,790百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。